

副業・兼業人材活用のおすすめ



梅澤 秀樹

中小企業診断士
香川県プロフェッショナル人材
戦略拠点 マネージャー

Hideki
Umezawa

香川県の有効求人倍率は2025年9月現在1.44倍となっています。一時コロナの影響で企業は求人を手控える時期もありましたが、現在では営業職を中心に求人活動は活況化しています。ここで正社員を雇用すると経営的にコストアップするため、このところ徐々に副業・兼業の人材募集ニーズが高くなってきています。副業・兼業と言えばまだまだ認識が十分ではなく、アルバイト程度と考えられている経営者もいらっしゃるようですが、実際の副業・兼業は専門的な知識を持った人材を比較的廉価なコストで活用するというものです。兼業については残業代や社会保険料の按分等複雑になってきますが副業であれば、準委任契約として細かな対応は必要ない場合が多いです。副業人材は大きく分けて、2種類あり、大企業で専門的な経験をお持ちの方と士業のように専門的なノウハウをお持ちの方がおられます。私が人材会社にお聞きしたところ、正社員募集では求職者の増加は緩やかなのに対して、企業の求人ニーズは極めて高くなっていることで人材は引っ張りだこの状況です。しかし、副業・兼業については1人の募集について15人から30人が手をあげてくる状況です。その中から書類選考で4人から5人に絞って、1名あるいは2名を決定するという仕組みです。ある人材会社では5人の集団面接をWebで行うことで人材の比較が行いやすいという仕組みをとっているところもあります。今はまだ副業・兼業の認知度は低く、ご存じの企業は約5割程度と言われていますが、これからますます認知度が上がるものと思われます。大手企業の若手の副業・兼業人材は報酬ではなく自分の実力を中小企業で活かしたいとか、実力を試したいと考え、やりがいを求める方が

多い状況です。現状、企業サイドでニーズの高い人材像はマーケティング・経営企画・事業企画・業務企画・ITエンジニア・人事となっています。平均のコストは人材会社によっても異なりますが、例えばある人材会社では紹介手数料が1件あたり5万円(税抜)であり、そのほかに必要な費用は人材に対して報酬として月5万円(税抜)程度で月に20時間くらいでのWeb指導となっています。企業サイドで考えますと、月5万円で専門家の指導が受けられると言う大きなメリットがあります。平均的なアドバイス期間は6か月ですが、延長することも可能です。企業にとっては正社員採用と違って採用リスクが極めて低いので使いやすいと言われています。香川県で実際導入された企業の社長様が話されていましたが、「当初期待していたことの3倍、いや10倍の指導をしていたし、社員とチームを組んでプロジェクトを行ったことから、社員の教育にもなりました」との高評価をいただいています。先述したマーケティング部門については、自社ではとてもしサーチできない特定の商品で特定の海外地域のマーケティングも可能です。また、Webでの販売強化、人事評価制度指導、品質管理手法の指導、新商品開発のアイデア等のアドバイスも対応可能です。小さなコストで大きな成果が期待できるので、全国で続々と活用されている事例が出てきています。「攻めの経営」への1つの手段としてぜひ活用されることをお勧めします。相談は香川県プロフェッショナル人材戦略拠点が承っています。(電話087-867-3520)相談は無料ですので是非ご利用ください。

第77回中小企業団体全国大会、広島県にて開催される

11月12日、「広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)」(広島県広島市)において「第77回中小企業団体全国大会」が開催され、全国から中小企業団体の代表者約2,100名が参集、本県より24名が参加しました。

本大会では、鈴木憲和・農林水産大臣からのビデオメッセージが披露されるとともに、越智俊之・経済産業大臣政務官、山田雅彦・厚生労働審議官、山根健嗣・広島県副知事、中井幹晴・広島市副市長、関根正裕・株式会社商工組合中央金庫代表取締役社長よりご祝辞を頂戴しました。

その後、伊藤學人・広島県中央会会長が議長に、岩崎陽一・鳥取県中央会会長、櫻井一郎・熊本県中央会会長がそれぞれ副議長に選任されて議事が進行し、「中小企業・小規模事業者等の経営環境変化対応、成長促進支援等の拡充」、「中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」、「中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備」など15項目を決議しました。

また、野村泰弘・大阪府中央会会長が意見発表を行い、本大会の意義を内外に表明するため、河合修孝・広島県中小企業団体青年中央会会長が「大会宣言」を高らかに宣しました。

併せて、本大会では、優良組合(38組合)、組合功労者(73名)、中央会優秀事務局専従者(25名)の表彰が執り行われました。本県からは組合功労者として三好年昭氏(大野原石油エルピーガス商業協同組合理事)が表彰されました。

次期全国大会については、令和8年11月19日(木)に、熊本県熊本市において開催することを発表し、大会旗が伊藤學人・広島県中央会会長から森洋・全国中央会会長に返還されるとともに、森会長から櫻井一郎・熊本県中央会会長へと継承され、櫻井会長が次期開催地会長挨拶を行いました。

続いて、宮川正・独立行政法人中小企業基盤整備機構理事長による万歳三唱が行われ、閉会となりました。

また、本大会後には、全国から集う参加者同士の交流を深めることを目的に、大会参加者を対象とした「交流会」を広島県中央会が開催し、約1,100名が参加し、交流を深めました。

大会決議

I. 中小企業・小規模事業者等の経営環境変化対応、成長促進支援等の拡充

1. 喫緊の経営課題の解決に向けた支援の拡充・強化
2. 中小企業・小規模事業者の成長促進、持続的発展に向けた中小企業組合等を活用した支援の拡充・強化
3. 中小企業団体中央会の支援体制・予算の抜本的拡充、中小企業組合制度の活用拡充・運用改善
4. 強靱かつ活力ある地域経済社会の実現、持続可能な地域振興

II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

1. 最低賃金制度の適切な運用・在り方
2. 外国人技能実習制度から育成就労制度への円滑な移行の推進
3. 中小企業・小規模事業者者に配慮した働き方改革と社会保険制度の構築
4. 中小企業・小規模事業者の人材育成・確保・定着対策

Ⅲ. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

1. 中小企業金融施策の拡充
2. 中小企業・組合税制の拡充
3. 中小製造業等の持続的発展の推進
4. エネルギー・環境対応への支援の拡充
5. 卸売・小売業・まちづくりの推進に対する支援の拡充
6. サービス業支援の強化・拡充
7. 官公需対策の強力な推進

■組合功労者

三好 年昭 氏

(大野原石油エルピーガス
商業協同組合理事)

役員勤続年数／25年

主な共同事業／

- ① 共同受注事業
- ② 液化石油ガスの保安の確保
- ③ 教育情報事業



▲大会の様子



▲本県からの大会参加の皆様



▲大和ミュージアムサテライトにて

中央会だより 2

情報連絡員合同会議を開催

本会は、県内の地区・業種を代表する中小企業組合の役職員（19業種、48名）を情報連絡員として委嘱し、毎月の連絡員からの景況報告をもとに業界の現状及び問題点についての情報提供を行っています。（本誌6・7ページ参照）。

11月19日、連絡員の情報交換のための合同会議を本会研修室（高松市）において開催し、21名の出席がありました。はじめに香川県健康福祉部子ども政策推進局子ども政策課少子化対策グループ課長補佐横山曉氏・主事東條智里氏より「香川県における子育て支援について」、ご講演いただきました。その後、最近の県内中小企業における景況と問題点について本会担当者より説明の後、各業界を代表して4名の連絡員の方より下記のとおり具体的な発表がありました。

令和7年度 情報連絡員の報告概要

＜食料品（製粉製麺）＞

ロシアのウクライナ侵攻が始まった頃、小麦の価格が上がりが、現在は少しずつ下がってきた。大手製粉会社が岡山県水島地区に新工場を建設し、坂出工場を閉め、仕入れが厳しくなっている。12月には「うどんサミットinさぬき」が開催される。



▲香川県製粉製麺協同組合
岡田専務理事

＜木材・木製品（家具）＞

ウッドショック以降、木材の価格が高騰し、価格転嫁が追いつかない状況となっている。また、消費者の消費マインドの低下から、家具の売上が伸びない状況が続いている。県産広葉樹を活用する「100%MADE IN SANUKI PROJECT」は、課題を解決しながら、安定供給できるように進めたい。



▲香川県家具商工業協同組合
白井理事長

＜小売業（電機）＞

家電業界は大きな変革期が来ており、大手企業も家電部門から撤退するという発表もある。跡継ぎ問題、高齢化による廃業も増え、今後は組合員同士で協力し、支え合える仕組みを構築し、業界の活性化に繋げていきたい。



▲香川県電機商業組合
古川理事長

＜商店街（高松市）＞

物価の高騰で、消費者の財布のヒモは固い状況が続いているが、サンポート地区の再開発や商店街の人気ショップのオープン、大阪万博や瀬戸内国際芸術祭などのイベントにより高松駅周辺の人通りが増え、商店街の人通りも増えた。商店街の残りのブロックの再開発も進んでいる。



▲高松丸亀町商店街振興組合
川野常務理事



▲会議の様子

＜木材・木製品（木材）＞

大阪・関西万博の見どころの一つであった大屋根リングは日本の木材、杉と桧をふんだんに使用し、その強度や耐久性、環境への配慮から選ばれたもので、持続可能な資源として建築物への木材利用価値が見直され、木材需要のPRとして大きな役割を果たしたと思われる。しかし、新型コロナウイルスによるウッドショックで高騰した価格が多少下降したとはいえ、長引くロシア・ウクライナ侵攻による社会情勢、トランプ政策の関税政策によりまだまだ木材価格にも影響を及ぼしかねない懸念材料が多々ある。物価高は顕著で、木造新築住宅の着工戸数の減少は続き好転せず、業界は低水準で推移し先行きの不安は継続している。

＜輸送用機器（造船）＞

親会社の現在の手持ち工事は、前年度とあまり変わらず大変厳しい状況となっている。操業度の低下による仕事量の不足に加え山谷を伴った工程で安定しない状況が続いている。収入も減少傾向で社員の生活の安定にも影響している。

当日欠席の連絡員からは事前に業況報告を頂いており、上記報告には欠席者の報告も含んでいます。

「集まれ!!ちびっ子職人 ～みんなでしようお仕事体験in鶴尾まつり～」を開催

10月25日、高松市立鶴尾小学校(高松市)にて「集まれ!!ちびっ子職人～みんなでしようお仕事体験in鶴尾まつり～」を開催しました。本事業は、本会青年部及び会員企業が、各業界の特色を活かした体験型ワークショップ等を実施することにより、「働くことの楽しさ」や「技術の素晴らしさ」を直接地域の子供達へ伝え、香川県内の様々な業界に興味を持ってもらうことで、組合並びに各業界のPRを図ることを目的としています。

今年度は鶴尾校区コミュニティ協議会・にぎわい創生実行委員会との共催により、地域のお祭り「鶴尾まつり」と合同で実施しました。

開会式では、太田会長より「子ども達に多くのワークショップを体験していただきたい。そして将来の職業選択の際に、今日のことを思い出して頂ければ幸いです」との挨拶がありました。

当日は、青年部会員9組合が出展し、体験型ワークショップや組合オリジナル商品の販売等、趣向を凝らしたブースを展開しました。たくさんの児童の参加があり、保護者の方々も含め、楽しみながら業界の仕事内容や技術力の素晴らしさを感じて頂くことができました。

参加した小学生からは「普段の生活では体験をすることができないので、良い経験になった」など好評を得ました。

出展ブース



▲太田会長より挨拶



▲開会式の様子



▲組合代表者への周知会



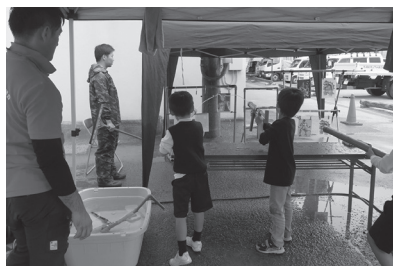
▲紙芝居・スライムと絵の具を使って色合わせ体験
(香川県自動車車体整備協同組合青年部会)



▲高所作業車体験
(香川県電気工事業工業組合青年部)



▲ペン立て作成
(香川県室内装飾事業協同組合青年部会)



▲水鉄砲で射的・パイプ工作
(高松市上下水道工事業協同組合青年部会)



▲オリジナルノート・うちわ作成
(香川県印刷工業組合青年部会)



▲盆栽・観葉植物作成
(香川県造園事業協同組合青年部)



▲タイルアート工作
(香川県建築事業協同組合青年部)



▲ラジコンコンボ操作体験
(建設協同組合高松総合センター青年部)



▲バラエティーパン販売
(香川県パン協同組合(吉田製パン所))

FROM 青年部 2

組合青年部全国講習会に参加

11月14日、組合青年部全国講習会がホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング(岩手県盛岡市)にて開催され、本会青年部から太田会長、友澤副会長、木村直前会長が出席しました。

第1部は「日本経済の現状と、これからの金融・経済政策」、第2部は「リスクマネジメントと情報セキュリティ対策」をテーマに講演がありました。

引き続き行われた交流懇親会では全国各地の出席者と交流を行い、盛況のうちに終了しました。



▲会場の様子



▲懇親会の様子

会員ニュース 1

「かがわ菓子まつり・希少糖まつり」を開催

香川県菓子工業組合

11月8日、丸亀町グリーン(高松市)において、香川県菓子工業組合(吉岡啓志理事長)と希少糖普及協会が「希少糖の日」(11月10日)に合わせて「かがわ菓子まつり・希少糖まつり」を開催しました。

県内の菓子店30店舗が参加し、各店が考案した希少糖入りの和菓子や洋菓子などが並び、参加者の目を引いていました。



▲出展の様子

また、高校生・大学生考案スイーツコーナーが設けられ、今年、全国和菓子甲子園にて奨励賞を受賞した穴吹学園高校の学生による「奇跡の豆」、坂出第一高校の学生からは

「さぬきのどら焼き」と「坂出三金時ブッセ」、香川短期大学からは希少糖入りスイーツが販売されました。

その他、特別セミナーやガラポン抽選会、試飲・試食コーナーなど、多様な催しが展開され、盛況のうちに終了しました。



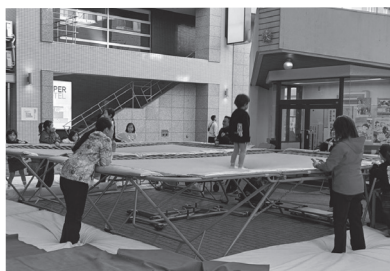
▲会場の様子

会員ニュース 2

「たかまつ元気DAY! 2025」を開催

協同組合日専連高松

協同組合日専連高松(岩佐武彦理事長)は、11月22日、高松中央商店街8町全域において、「たかまつ元気 DAY!」を開催しました。商店街を周遊しながらスポーツの楽しさや健康の大切さを実感してもらうことを目的に企画開催されたものです。



▲トランポリン体験の様子




当日は、フリースローやレスリング体験、貯筋運動などのスポーツ・健康体験の他、ダンスや新体操、なぎなたなどのパフォーマンス「元気ライブステージ」や、歩行領域モビリティ、eスポーツなどの先進的・実験的企画、地元香川のプロスポーツブースなど多様な催しが終日展開され、各ブース大勢の人で賑わいました。







▲開会式の様子

米国関税措置による悪影響への不安感が落ち着きつつあることや インバウンド需要に支えられ売上高DIと景況DIが改善した。














































2025年10月

製造業	食料品 	<ul style="list-style-type: none"> ●最低賃金上昇のため、ますます大変な状況になっている。値上げをしなくては厳しいが、顧客離れがあるかと思うと難しい。(惣菜) ●10月から輸入小麦が5銘柄平均で4.0%引き下げられたことを踏まえ、大手製粉業者から業務用小麦粉価格の発表があった。値下げ額は業務用(25kg当り)強力・準強力系65円、中力・薄力系45円、国内産小麦100%25円の値下げとなった。(製粉製麺) ●味噌業界は円安の為、輸出で出荷量及び売上、利益とも好調である。値上げ分と為替レートにより利益増加となっている。但し、輸出に対して前向きに対応できた会社に限ると思う。当組合も輸出を目的にGI認証を2年前に取得したが、全く対応できていない。色々資料や商談会の情報提供を行っているが、対応は会員企業によってまちまちである。現状維持ではいけないと会議での議題には上がるが、実情は難しい。他県も前向きな組合はGI認証を取得し、海外へ視察や研修会に参加し前向きに活動している報告も聞く。9月の商談会の結果は来年1月の年間出荷報告書で確認したい。良い結果を期待している。(味噌) ●日本冷凍食品協会による8月の冷凍食品生産数量は昨対100%となった。カテゴリー別にはフライ揚げ物類98.0%、フライ類以外の調理食品100.7%、菓子類91.6%となり、業務用が好調だった。10月13日に大阪関西万博が閉幕したことなどにより、外食産業の動向注視が必要であると考え。また、香川県では10月18日から地域別最低賃金の改定により66円上昇した。様々なコストが上昇してきている。更なる生産性向上や値上げへの対応など、経営課題は山積している。(冷凍食品) ●人手不足(特に早朝勤務)や最低賃金アップに伴う人件費アップが経営に影響してきている。(パン)
	繊維工業 	<ul style="list-style-type: none"> ●瀬戸内国際芸術祭秋会期に合わせ、10月4日から引田地区も一部の会場を特別開館(土日祝のみ)を行い、ある程度の集客は上げることができた。手袋組合が関係している、手袋ギャラリーでの物販についても来場客数に比例してますますの売れ行きで着地した。人手不足の件はイベントでも深刻な状況であり、今後の運営には苦労しそうな点でもあるが、継続的な発信が必要なこの時代にマッチした手法で人手不足を補う所存である。商況については、秋が短くすぐに冬が到来する昨今は実需期も短くなった気がしてならないが、寒くならないと売れない手袋を如何に寒くない時期に売ることが課題かもしれない。(手袋)
	木材・木製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●地場産業のひとつであるこたつに関しては季節、気温の要因で受注はやや増加傾向だが、他の家具については低調である。香川県産木材利活用取組については大阪関西万博に県産ヒノキのテーブルが1000台使われた効果もあり、今後の成長に向けてPRやブランディングの強化が必要である。(家具) ●木材販売価格は昨年と変わらないが、住設資材の値上がりにより相変わらず新設住宅着工数は減少しており、業界全体の需要の冷え込みが厳しく先の見通しが立たない状況である。(製材) ●物価高は当然のごとく建築関連資材諸々にも影響を及ぼしており、新築住宅着工戸数は減少の一途をたどっている。建築の坪単価が高止まりしているため建築面積を縮小せざるを得ない業況が続いている。(木材)
	印刷 	<ul style="list-style-type: none"> ●10月の売上は前年並みで終わる予定である。組合内印刷会社に確認したが、同様な答えかあるいは前年より動きが悪いという連絡を受けている。組合員各社の年内の動向を注視していきたい。
	窯業・土石製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●産地内事業所の平均的な収益状況は厳しさを増すばかりである。このような状況だからこそ、知恵と行動力で乗り越えるためには、組合員全体で方向性を統一し、状況打破を図らなければならないところではあるが、方向性も見いだせず現実的には個々の事業所の対策で精一杯という現実しかない。(石材加工)
	鉄鋼・金属製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●材料・エネルギー・人件費の上昇によるコストアップに販売価格が追いつかず、各社値上げ交渉中である。(鋳物) ●上半期が終わり、組合員の状況としては比較的仕事の受注が来ているようである。ただ、数社は受注が減少している会社もあり、総じて忙しい状況にはならないようである。(鉄鋼) ●現在の鉄骨需要は見積物件が少なく若干前年割れが続く中、企業間格差はあるものの協力加工・付帯工事などで工場稼働率は90%程度キープしている。ただし、人件費・価格転嫁など上昇に対する採算性を重視した取組が重要となる。年始以降の見通しは不透明な状況が続くと思われる。(建設用金属)
	輸送用機器 	<ul style="list-style-type: none"> ●前月と同じく業況に変化はない。人員も仕事量も大きな変化はなく、低調に推移している。(造船)
	その他 	<ul style="list-style-type: none"> ●天候も穏やかになり人々の流れも良くなった。特に瀬戸内国際芸術祭があり、インバウンド客と国内観光客の購買力が上がり、業界の景況感は良くなったと思われる。(漆器) ●例年の防衛省の仕事が落札できなかった。大型量販店が落札したようである。業務用布団も減少傾向にある。(綿寝具)
非製造業	卸売業 	<ul style="list-style-type: none"> ●今年の夏の天候は高温や小雨など、特に異常な暑さから作物が育たない状況が続いた。(農業)
	小売業 	<ul style="list-style-type: none"> ●天候不順により青果物全体の品不足が続いている。価格高騰に仕入れ自体がうまくいかず厳しい販売展開になった。11月もこの状況が続くと予想される。(青果物) ●県外安売業者の販売価格による周辺地域SSへの収益圧迫の影響がある。年内でガソリンの暫定税率が廃止されることが決まった。現場での混乱を防ぐため、廃止までのプロセス、スケジュールなど、県内SS約270カ所にポスターを配布する等で周知を行う。(石油) ●家電メーカー各社の業績が良くないので、人員削減などの生き残り策を発表している関係で組合に携わるメーカー営業からの情報が減っている。そうなってくると組合の必要性が重要になる。コロナで中止していた技術研修会を10月24日に開催し、28名の組合員が出席した。(電機)
	商店街 	<ul style="list-style-type: none"> ●月初は瀬戸内国際芸術祭秋会期が始まり、また、中国の国慶節の時期とも重なったことで、国内外から多くの観光客にお越しいただけ、特に週末の商店街はあふれかえるほどの人通りとなっている。合わせて、ドーム広場では連日、音楽や秋祭り、エンターテインメントのイベントが目白押しであり、盛況である。月の後半はサンポート地区でハロウィンイベント、プロジェクションマッピング等が開催され、来場者が商店街へ回遊する動きも見られている。10月24日には丸亀町グリーンにポケモンセンターがオープンしたことが更なる商店街全体への集客に繋がっており、過去にないほどの人出が続いている。ただ、その流れは飲食店、土産物需要等へは経済波及効果があるものの、その他の商店街内の業種への恩恵は少ないと感じさせるものに終わっている。空前の日本株高が続いているが、消費活性化への効果は限定的であり、すぐに消費環境改善に繋がるものではなく、むしろ、同時に進行する円安のギアが上がることによる

10月の県内景況は、前年同月と比べて売上高DI値は-2.1ポイントで前月調査の-25.0ポイントから22.9ポイントの改善、収益DI値は-27.1ポイントで前月と同値、景況DI値は-29.2ポイントで前月調査の-37.5ポイントから8.3ポイントの改善となった。

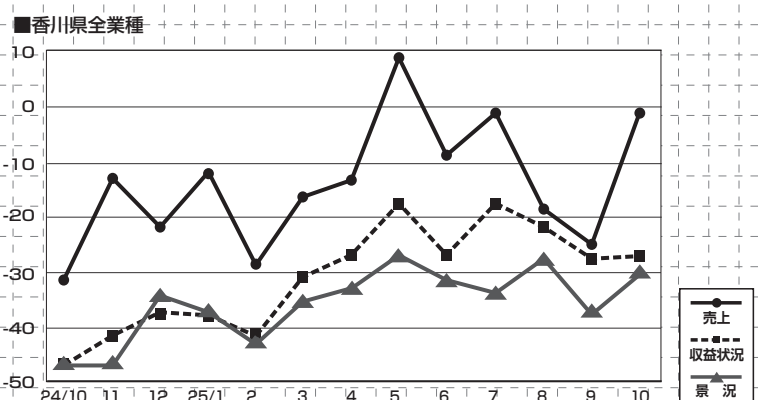
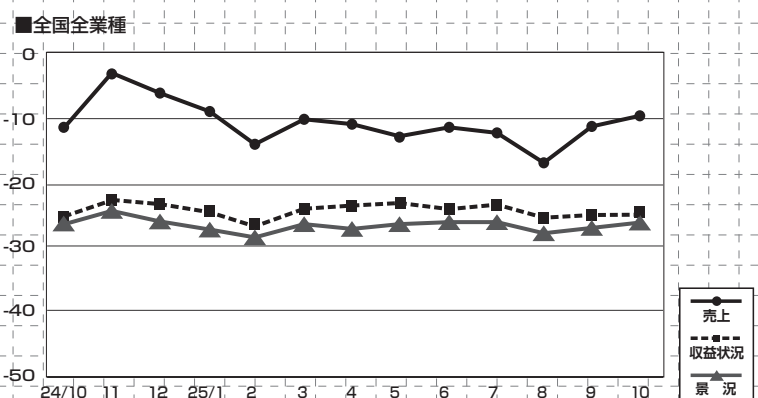
非製造業	商店街 	<p>輸入品や原材料価格の高騰傾向の方が、庶民にとっては問題であり、物価高が今後もしばらくは続く要因となりうる状況であり、固くなってしまった消費者の財布のヒモが緩まることはないと思われる。初の女性首相の誕生に伴い、国政が好感され、今後打ち出される経済政策への効果を期待する声も多い。消費環境にとっては追い風であるが、手取りの増加か出費、物価の軽減が早期に見える形で享受できないとその期待は失望に変わる事となる。速やかな閣議決定や政策実施が望まれる。(高松市①)</p> <p>●瀬戸内国際芸術祭秋会期も始まり、飲食店が過半数を超える当商店街では国内外問わず大勢の来街者を迎えることができた。特に週末・連休等は夕方頃からどの飲食店も満席で、入店できる店を訪ね歩く人達も大勢見受けられた。(高松市②)</p> <p>●物価高騰を受けて、10月は売上が全体的にダウンした。ハロウィン行事で活気を取り戻したかったが例年の半分程度と不調に終わった。(丸亀市①)</p> <p>●街の人通りや物販店の業況は、「相変わらずの悪さ」が継続している。瀬戸内国際芸術祭の秋会期で、地元の本島が会場になり、猪熊弦一郎美術館との連携事業で「美術館グズの進呈(くじ引き)」を行ったが、好評で予定の期間よりも早く終了した。また地元の氏神さんの大祭では、一つの地区の神輿が20年ぶりに復活した。他所から出店して来た飲食店が、「担ぎ手」を動員して実施できたこと聞いたが、各方面との連携・共働は今後の大切な課題だと思った。(丸亀市②)</p> <p>●小売店の販売方法として、各個別店単体の間口が狭い滞留時間の短い接客よりもメーカー・商社・他業種混成の大会場合同展示販売会がうまくなり、成果が上がっている。単一店舗では話題性や娯楽性や商品量に劣るので勝負にならない。商品力に自信はあるが、量に劣る小店舗がなんとかするとしたらその方法も積極的に取り組もうと考えている。(観音寺市)</p>
	サービス業 	<p>●当月は、瀬戸内国際芸術祭、香川県立アリーナの相乗効果でほとんどの施設の稼働が上がった。今後、この好調を如何に継続発展させるかが課題である。県観光交流のチームは、今後夜型観光に注力している状況であるが、さらなる支援をお願いしたい。(旅館)</p> <p>●年末に向けて業界の動向は活発になってきている。(情報)</p> <p>●2025年6月の「年金制度改正法」成立を受けて、美容業の個人経営サロンは今まで社会保険への加入が対象外だったが、これからは避けて通れない経営の重要課題となる事から、お店自体が受け身でのリスクと捉えるか、前向きに未来への投資と捉えるかにより香川県の美容室においてさらにサロン格差が進むものと思われる。(美容)</p>
	建設業 	<p>●物価高が長期化しており、落ち着く気配が見えない。組合運営においても共同購入をしている資材の利用数量低下が顕著に表れている。原因として、価格高騰による二次製品への移行等も考えられる。当組合としては、共同購入に係る収入が、財源の柱の一つであり、組合運営において大きな影響がある。新規事業を立ち上げる事が最も効果的ではあるが、何も見出せていない。いかに支出を抑えていくかが鍵となっている。(総合建設)</p> <p>●資材に関して各メーカーより来年度からの価格改定のお願いが出てきている状況である。(水道工事)</p>
	運輸業 	<p>●令和7年9月の輸送実績は対前年同月比で営業収入105.5%、輸送人員は112.3%と増加した。(タクシー)</p> <p>●令和7年9月分高速道路通行料金利用額の対前年同月比は0.1%増となり、対前月比では8.9%増となった。また、9月分利用車両数の対前年同月比は0.9%減となった。(トラック)</p>

香川県内の業種別DI値の変化 (対前年同月比)

	売上高	収益状況	業界の景況
製造業	食料品 		
	繊維工業 		
	木材・木製品 		
	印刷 		
	窯業・土石製品 		
	鉄鋼・金属製品 		
	輸送用機器 		
	その他 		
非製造業	卸売業 		
	小売業 		
	商店街 		
	サービス業 		
	建設業 		
	運輸業 		
	その他 		

※集計結果の詳細は、本会ホームページ上でご覧になれます。
<http://www.chuokai-kagawa.or.jp/>

DI値の推移 (対前年同月比)



商工中金だより

お客さまのライフステージごとの経営課題に着目し、特に商工中金として事業性評価能力を向上し、積極的に強化していく3つの分野（カテゴリー・S・E・T）を「差別化分野」と位置付けました。お客さまの企業価値向上とともに、商工中金自身の長期的な収益基盤拡大や適切なリスクテイクを通じた持続的成長のため、今後、積極的に対応力向上を図っていく分野です。

Startup（スタートアップ支援）

スタートアップ特有の課題を踏まえた
一気通貫のサポート

- ▶ファイナンスを中心とする適切なリスクテイク
- ▶メザンファイナンス、外部アライアンスの活用
- ▶ビジネスマッチングを通じたセールスサポートの強化

Esg（サステナブル経営支援）

“SPEED”の視点*を活用した
事業性評価やお客さま支援を推進

- ▶CO2排出量削減コンサルティング等、サービス拡充
- ▶従業員エンゲージメント向上、BCP策定支援等
- ▶中小企業組合、関係会社等との連携

*商工中金が独自に定めた、組織・職員のサステナビリティに対する取組みの基本的な視点。
SPEED・・・Sustainability, Productivity, Empathy, Ecology, Digitalの頭文字

TurnAround（事業再生支援）

専門性向上と対応力の底上げにより、
事業再生のトップブランドを構築

- ▶経営危機の未然防止と危機状態からの脱却支援
- ▶多様なキャリアを持つ専門チームによる高度な支援
- ▶人的資本の充実にに向けたサポート強化

〈お客さまライフステージ〉



本業支援

事業性評価を起点とした本業支援

○ビジネスマッチング ○海外展開支援 ○事業承継 ○M&A 等

金融支援

お客さま支援の基本となる金融支援

○資金繰り対策融資 ○セーフティネット機能の発揮 ○財務構築改革支援
○成長投資支援 等

なお、詳細につきましては、商工中金
高松支店までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

株式会社商工組合中央金庫
高松支店
〒760-0052 高松市五町 1-3-8
TEL.087-821-6145
FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

地域経済の産業活動の維持・発展のために、事業の譲渡、株式の譲渡、合併などにより経済的または社会的に有用な事業や企業を承継・集約する中小企業者および事業を承継・集約される中小企業者の資金調達の円滑化を支援します。

詳しくは、支店の窓口までお問い合わせください。

○事業承継・集約・活性化支援資金の概要

ご利用 いただける方	1 中期的な事業承継を計画し、現経営者が後継者（候補者を含みます。）と共に事業承継計画を策定している方 2 安定的な経営権の確保等により、事業の承継・集約を行う方および当該事業者から事業を承継・集約される方 3 中小企業における経営の承継の円滑化に関する法律（経営承継円滑化法）第12条第1項第1号の規定に基づき認定を受けた中小企業者（同項第1号イに該当する方に限ります。）の代表者、同法第12条第1項第2号の規定に基づき認定を受けた個人である中小企業者または同法第12条第1項第3号の規定に基づき認定を受けた事業を営んでいない個人の方 4 事業承継に際して経営者個人保証の免除等を取り金融機関に申し入れたことを契機に取引金融機関からの資金調達が困難になっている方であって、公庫が融資に際して経営者個人保証を免除する方 5 事業の承継・集約を契機に、新たに第二創業（経営多角化・事業転換）または新たな取組みを図る方（第二創業後または新たな取組み後、おおむね5年以内の方を含みます。）	
お使いみち	「ご利用いただける方」の1に当てはまる方が、事業承継計画を実施するために必要な設備資金および運転資金 外	
融資限度額 （いずれも別枠）	国民生活事業	7,200万円（うち運転資金4,800万円）
	中小企業事業	14億4千万円
ご返済期間 （うち据置期間）	設備資金	20年以内＜うち据置期間5年以内＞
	運転資金	10年以内＜うち据置期間5年以内＞
利率（年）	国民生活事業	基準利率、特別利率A、特別利率B
	中小企業事業	基準利率、特別利率①、特別利率②
担保	お客さまのご希望を伺いながらご相談させていただきます。	

〈支店窓口〉株式会社 日本政策金融公庫 高松支店

URL：http://www.jfc.go.jp

〒760-0023 高松市寿町 2-2-7 いちご高松ビル 2・3階

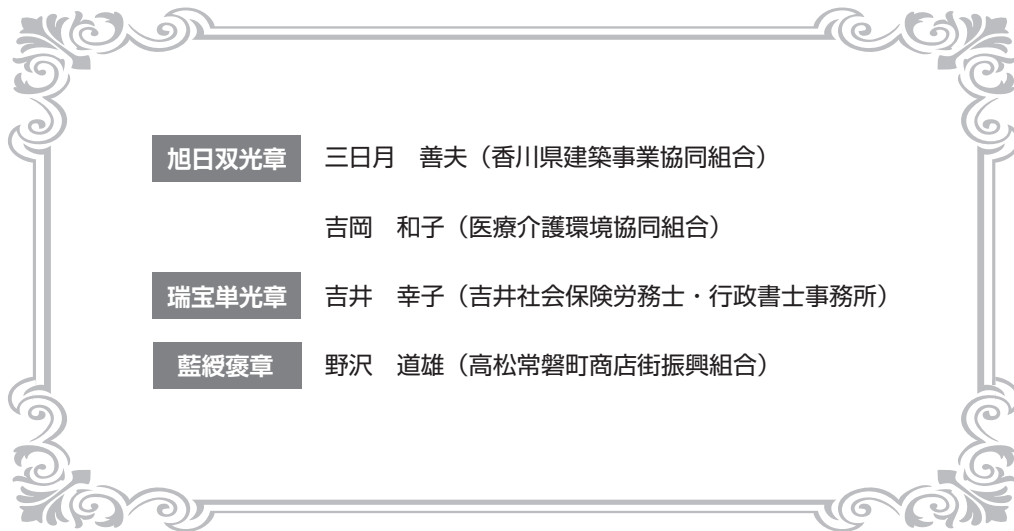
国民生活事業（2階） Tel.0570-085-298 Fax.087-822-9274

中小企業事業（3階） Tel.087-851-9141 Fax.087-822-1423

農林水産事業（3階） Tel.087-851-2880 Fax.087-822-7350

栄えある受章、おめでとうございます

秋の叙勲並びに褒章を受章されました会員組合代表者等の方々をご紹介します。(順不同・敬称略)



国家公務員は事業者の皆様との間で



✓ 飲食は割り勘が基本です
✓ 手土産 お歳暮 は受け取れません

詳しいルールはこちらから



<https://www.jinji.go.jp/rinri/kokumin.html>

国家公務員倫理審査会

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社／定価
1	変な地図	雨穴	双葉社／1,760円
2	ハーバード、スタンフォード、オックスフォード…科学的に証明された すごい習慣大百科 人生が変わるテクニック112個集めました	掘田秀吾	SBクリエイティブ／1,760円
3	バンどろぼうとスイーツおうじ	柴田ケイコ	KADOKAWA／1,540円
4	ゲッターズ飯田の五星三心占い2026 金の羅針盤座	ゲッターズ飯田	朝日新聞出版／1,397円
5	シークレット・オブ・シークレッツ 上・下	ダン・ブラウン	KADOKAWA／2,750円

香川県書店商業組合調べ